

RWSオンデマンド特許調査講座のコンテンツ一覧

受講ガイド

26分

オンデマンド特許調査講座の概要

1. オンデマンド特許調査講座の特長
2. 各講座の構成概要
3. 各講座で想定する実務経験の目安
4. 講師自己紹介とその思

各講座の構成と狙い

1. 特許検索入門講座
2. 特許調査基礎講座
3. 特許分類活用講座
4. 先行技術調査講座
5. 無効資料調査講座
6. 侵害予防調査講座

ご受講の前に

1. 特許調査に必要な知識とスキル
2. 検索式例の表記について
3. 事前課題について

特許検索入門講座

1. 特許公報と特許情報検索

27分

事前課題

特許公報を読む

第1章 特許公報と発明の理解

1. 特許公報の主な記載事項
2. 特許公報を読む（事前課題：発明の理解）
3. 特許公報を読む（事前課題の解説）
4. 特許公報の位置付け

第2章 特許情報検索の概要

1. 何をしたいか
2. どこを探すか（特許情報データベース）
3. 何のために検索するか
4. どのようにして検索するか

参考: WEB検索との違い

2. J-PlatPatによる特許検索演習

24分

+演習20分

第1章 試してみましょう

1. 検索用事例
2. 検索の考え方
3. キーワードの整理
4. J-PlatPat検索機能へのアクセス
5. J-PlatPatによるキーワード検索
6. キーワード検索結果のまとめ
7. 特許分類FIを用いた検索
8. 検索機能の応用
9. Fタームを用いた検索
10. 演習のまとめ

3. 特許調査入門

38分

第1章 特許分類の第一歩

1. 日本の特許分類の種類
2. 特許分類の階層構造
3. FI, IPCの構造
4. Fタームの構造

第2章 特許分類の付与と見つけ方

1. 特許分類の付与原則
2. 日本の特許分類付与
3. 特許分類の見つけ方

参考: 詳しくは…

第3章 先行技術調査の第一歩

1. 特許検索の基本
2. 先行技術調査の手順
3. 検索の事例

特許調査基礎講座

4. 特許情報の把握

事前課題

特許公報記載事項の把握

第1章 特許情報の把握

1. 特許公報の構成
2. 特許公報から発明を理解する
3. 特許公報の具体例
4. 特許公報記載事項の把握
5. 特許公報の書誌事項
6. J-PlatPatの活用
7. 海外の主な特許情報サイト

18分

5. 特許調査の考え方

第1章 特許調査の考え方

1. 特許調査の種類
2. 先行技術調査と無効資料調査
3. 侵害予防調査
4. 調査結果の検討例
5. 調査の手順

20分

6. 国内外の特許制度の基本

第1章 日本の特許制度の基本

1. 特許法: 目的・定義
2. 主な特許要件
3. 特許出願から権利消滅まで
4. 主な特許審査関連手続
5. 特許審査の運用
6. 調査に影響する出願関連手続

30分

第2章 海外の特許制度の基本

1. 外国特許出願の種類
2. 主要国の特許制度
3. 欧州単一効特許制度
4. US旧法(先発明主義)と新法(先出願主義)
5. 海外の特許調査に際して

7. 特許性判断の基本

第1章 特許性判断の基本

1. 特許審査の進め方
2. 新規性判断と進歩性判断
3. 新規性・進歩性判断の具体例
4. 特許性判断に関わる日付の確認

16分

特許分類活用講座

8. 特許分類の基本 I

31分

第1章 特許分類の概要

1. 覚えておきたい特許分類
2. 特許情報検索時の使い分け
3. 特許分類の階層構造
4. 日本特許に付与される特許分類

第2章 日本の特許分類

1. FI, IPCの構造
2. ファセット分類記号
3. Fタームの構造
4. FI, IPCの付与原則
5. 特許分類の付与手順

第3章 FI, Fタームの改正情報

1. FIの改正情報
2. Fタームの改正情報

参考

9. 特許分類の基本 II

26分

第1章 欧米の特許分類

1. CPCとその付与原則
2. CPCの構造
3. CPC Y section
4. CPC Combination Sets
5. USPC

第2章 CPCの改正情報

1. CPC改正情報の確認
2. CPC改正情報の実例
3. Espacenetでの改正情報表示

参考

第3章 FIとCPC

1. FIとCPCの融合化
2. FIとCPCの付与における差異

第4章 國際特許分類IPC

1. IPCの基本
2. IPCの改正情報

参考

10. 特許分類の応用

25分

第1章 特許分類の選択・特定

1. 特許分類の選択・特定方法 (JP)
2. 特許分類の選択・特定方法 (EP,US)
3. 特許分類の選択・特定方法 (IPC)
4. 特許分類の選択・特定のヒント

第2章 検索への特許分類の活用

1. 検索式の構成
2. 特許分類の使い方
3. NG事項
4. 特許分類付与ブレ対策
5. その他の注意事項

11. 特許分類の活用事例

31分

事前課題

検索式の問題点指摘

(1-1) (1-2), (2)

FI, Fターム, CPCの特定

(3)

第1章 特許分類活用NG事例

(1-1)(1-2)

1. NG事例課題
2. NG事例課題解説
3. NG事例課題解答

第2章 FI, Fタームの選択・特定事例

1. FI, Fターム 選択・特定方法
2. FI, Fターム 選択・特定結果
3. FI, Fターム使用検索式のNG事例

(2)

第3章 FI, Fターム, CPCの特定事例

(3)

1. FI, Fターム, CPCの特定課題
2. FI, Fターム, CPCの特定結果
3. FI, Fターム特定方法解説
4. CPC特定方法解説

先行技術調査講座

12. 先行技術調査の前に 23分

事前課題

薬液容器スクリーニング演習

第1章 先行技術調査用おさらい事項

1. 先行技術調査の目的
2. 先行技術調査の考え方
3. 日本の特許分類
4. FI, IPCの付与原則
5. JP特許分類の付与手順

第2章 スクリーニング演習

1. 事前課題
2. 課題の解説
3. 課題の解答例
4. 参考(審査経過)

13. 先行技術調査の手順 41分

第1章 先行技術調査の手順(前編)

- 序. 先行技術調査の一般的なフロー
1. 調査対象発明の理解
2. 抽出すべき文献の把握
3. 予備検索
4. 分類選択・特定
5. ワード抽出・選定
6. 検索式作成

第2章 先行技術調査の手順(後編)

7. 検索実行 → 8. スクリーニング
8. スクリーニング
9. 抽出件検討
10. 検索終了判断
11. 検索式見直し
12. 構成要件対比
13. 特許性検討

14. 先行技術調査の応用 I (検索事例) 24分

事前課題

発明の理解(検索事例用発明)

第1章 先行技術調査の事例1(前編)

1. 発明の理解
2. 抽出すべき文献の把握
3. 予備検索

第2章 先行技術調査の事例1(後編)

4. 分類選択・特定
5. ワード抽出・選定
6. 検索式作成
7. 抽出件検討

15. 先行技術調査の応用 II (検索事例) 19分

第1章 先行技術調査の事例2(前編)

1. 調査対象発明
2. 発明の理解
3. 抽出すべき文献の把握
4. 予備検索
5. 分類選択・特定

第2章 先行技術調査の事例2(後編)

6. 検索式作成
7. 抽出件検討

参考

無効資料調査講座

16. 先行技術調査の復習 32分

事前課題

音声認識、アイロン、発光素子モジュール

第1章 検索式事前課題解説 I

1. 音声認識
2. コードレスチームアイロン
3. 2つの事例から学ぶ注意点

第2章 検索式事前課題解説 II

1. 発光素子モジュール事前課題
2. 検索式A解説
3. 検索式B解説
4. 検索式C解説
5. 検索式D解説

第3章 先行技術調査の検索式例

1. 分類の選択・特定
2. 検索式作成事例
3. 検索結果

17. 無効資料調査の基本 22分

第1章 無効資料調査における注意事項

1. 先行技術調査との違い
2. 無効資料調査の手順
3. 調査対象発明の理解
4. 審査経過・引用文献の確認
5. 日付の設定
6. 検索式構成時の配慮点
7. 特許分類の使い方
8. 英語特許検索における注意点
9. その他の要注意事項

18. 各国特許情報の確認 20分

第1章 WEBによる各国特許情報の確認

1. 無効資料調査で事前に確認すべき情報
 2. J-PlatPat /INPI
 3. Espacenet /EPO
 4. Patent Center /USPTO
 5. PATENTSCOPE /WIPO
- (参考) CPC org.

19. 無効資料調査の応用(検索事例) 33分

第1章 無効資料調査の事例(前編)

1. 調査対象特許の確認
2. 探すべき文献の把握
3. 特許分類の選択・特定

第2章 無効資料調査の事例(後編)

4. 検索キーの整理と検索式 (JP)
5. 検索キーの整理と検索式 (EP,US)
6. 漏れ防止検索式検討
7. 特許性(無効性)の検討

(参考) チエックリスト

侵害予防調査講座

20. 侵害予防調査の基本・考え方

事前課題

ボールペンチップ、障害特許が見つかった場合の対応

第1章 侵害予防調査の基本

1. 特許調査の種類と侵害予防調査
2. 侵害予防調査とは
3. 侵害予防調査の目的
4. 無効資料調査等との違い

第2章 侵害予防調査の考え方

1. 権利侵害の判断
2. 調査対象範囲
3. 第三者特許とイ号実施形態との対比
4. 調査結果と対応
5. 侵害予防調査の実施判断

第3章 侵害予防調査は難しい？

1. これは容易？
2. 単純そうでも容易ではない
3. より複雑な構成になると . . .
4. 調査のためには . . .

26分

21. 侵害予防調査の手順

事前課題

例示実施形態の権利侵害可能性の検討

第1章 侵害予防調査の手順:前編

1. 侵害予防調査のフロー
2. 調査のための事前計画
3. 抽出すべき文献の把握
4. 予備検索
5. 分類選択・特定
6. ワード抽出・選定
7. 実施国・実施時期

第2章 侵害予防調査の手順:後編

8. 検索式作成
9. 検索実行 → 10. スクリーニング
11. 抽出件の確認
12. 検索終了判断 → 13. 検索式見直し
14. 構成要件対比
15. 侵害可能性検討

32分

22. 侵害予防調査の応用 I

第1章 侵害予防調査事例:事前計画

1. 従来の実施形態の明確化
2. 予定の実施形態の明確化
3. 構成要件の分析と調査用請求項の検討
4. 調査用仮請求項の想定
5. 調査条件の確認

第2章 侵害予防調査事例:検索準備

1. 予備検索/分類選択・特定
2. ワードの抽出
3. 分類とワードの整理

20分

23. 侵害予防調査の応用 II

第1章 侵害予防調査事例:検索式

1. 検索式作成および検索実行(JP)
2. 検索式作成および検索実行(US/WO)
3. 事例における確認事項

第2章 侵害予防調査事例:抽出文献検討

1. スクリーニング
2. 抽出件の確認
3. 構成要件対比 → 侵害可能性検討
4. 報告書作成

参考 間接侵害、均等侵害 等

31分

以上